

# 競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は2020年度日本陸上競技連盟規則に準じて行うが、小学生については「1回目のフライングで失格」の新規則は適用せず、旧ルール（一人が2回のフライングで失格）を適用する。なお、スタートの合図はイングリッシュコマンドとする。
2. アスリートビブス（ナンバーカード）は胸と背に必ず規定の物を糸又は安全ピンで取り付ける。
3. 競技場への入場等について
  - 【競技者】

競技場内への入場はすべて第4ゲートを使用する。入場の際にはアスリートビブス（ナンバーカード）を係員に見せること。競技終了後は第2ゲート又は第4ゲートから退場する。
  - 【保護者】

競技場への入場及び退場はすべて第4ゲートを使用する。入場の際には係員に競技会観戦入場票の提出を義務付ける。（混雑を避けるために用紙を事前にHPからダウンロードし、記入しておくことをお勧めします）観戦入場票を提出した際には、再入場時に必要な物品を係員から受け取ること。
  - 【共通】

トイレは第1ゲート外側又は公園内のトイレを使用する。メインスタンド及びバックスタンドのトイレは使用できない。また、エントランスホールから場内に入場することはできない。（緊急時を除く）
  - 【記録等】

記録掲示板を用いての記録等の表示は行わない。放送では3位までの記録等を発表する。それ以外はアスリートランキングで確認する。
4. 選手の招集について
  - 競技開始15分前までに競技者係（トラックはスタート地点、フィールドは競技場所）で自分の名前と所属名を知らせ、アスリートビブスを見せる。トラック競技に出場する選手は、右腰やや後ろ側に腰ナンバーカードを付ける。なお、バックストレートフィニッシュの場合は、両方の腰に腰ナンバーカードを付ける。
  - 招集開始時間と終了時間、競技開始時刻はプログラムに書いてあるので、よく見て遅れないようにすること。点呼に遅れると失格となるので注意すること。招集が終わったら審判員の指示に従うこと。種目が重なっている場合、トラック種目が優先されるので、そのことを審判員に申し出て指示に従う。
5. プログラムに記載間違いがあったら本部に早めに申し出ること。
6. レーン、試技順はプログラムの番号順とする。
7. リレーについてはすべて、決められたレーンを走る。（バトンの受け渡しは30mのテイクオーバーゾーン内で行う。）オーダーは競技開始時刻の1時間前までに競技者係まで申し出て、オーダー用紙に走る順を記入する。バトンを渡しても他の選手のじゃまにならないようにするため、係の指示があるまで、自分のレーンから出ないこと。
8. ハードルは、スタートから第1ハードルまで13m、インターバル7m、高さ70cm、台数9台、最終ハードルからゴールまで11mとする。
9. スパイクシューズ、スタートの仕方、リレーのテイクオーバーゾーンについては要項に記載のとおり。

10. フィールド競技（走高跳、棒高跳、走幅跳、砲丸投、ジャベリックボール投）

(1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。（天候によって変更することもある）

【小学男女走高跳】

練習 1 m05 試技 1 m10から 5 cm上げ、1 m30以上は 3 cm上げとする。

背面跳ではなく、はさみ跳でマットへの着地は必ず足裏からとし、背・腹などからの着地は無効とする。

【中学女子走高跳】

練習 1 m20 試技 1 m25から 5 cm上げ

【中学生男子走高跳】

練習 1 m35 試技 1 m40から 5 cm上げ

【棒高跳】

練習 1 m60 試技 1 m80から20cm上げ

(2) 走幅跳、砲丸投、ジャベリックボール投の試技は、それぞれ 3 回ずつとする。

11. 競技に使う用器具は、すべて競技場備え付けのものを使用する。

12. その他

- (1) 選手は本部前席前を通らないこと。
- (2)トラックを横断する時は、事故のないよう、十分気を付けること。
- (3) 補助競技場では備え付けのハードルとスターティングブロックのみ使用できる。
- (4) 主催者は応急処置のみ行う。
- (5) 主催者側で消毒用アルコールを用意するが、参加者自身も持参することを推奨する。
- (6) ゴミ類はすべて持ち帰ること。

※出場時には《【大会前/提出用】体調管理チェックシート》の提出が義務付けられる。事前に札幌陸協のHPから印刷し、当日朝の受付に団体単位で提出する。なお、未提出の場合は出場できない。

※本大会における「撮影（写真・動画等）制限」に関しては許可制となる。詳細は札幌陸上競技協会のHPで確認する。

※感染症対策のため、選手、競技役員、観客等、来場者全員がマスクを着用する。観客席においては十分な間隔を取って着席すること。大きな声を出しての応援はできない。また、運動時以外はマスクを着用すること。